

令和6年度ひなたの出逢い・子育て応援運動推進会議 議事概要

1 日 時 令和7年3月21日（金） 15:00～16:10

2 場 所 県庁5号館521号室

3 出席者 宮崎県知事

社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会会長

一般社団法人宮崎県商工会議所連合会会頭

宮崎県町村会会長

宮崎県地域婦人連絡協議会会長

子育てネットワークみやざき事務局事務局長

4 会議内容

- (1) 令和6年度ひなたの出逢い・子育て応援運動の取組状況について
- (2) 宮崎県こども未来応援プランについて
- (3) 令和7年度日本一挑戦プロジェクト(子ども・若者)関連の取組について

※以下、主な発言要旨

(宮崎県町村会)

- ・ 就任当時、日之影町は消滅可能性都市と言われ、そこから約10年間様々な取組を行っているが、結婚、子育てが重要だと認識し、医療費、保育料、給食費等の無償化などを実施している。
- ・ 子どもを育てやすい環境づくりは進んでいるように感じているが、出逢い支援は非常に難しいと感じている。地域で支える仕組み、よい意味でのおせっかいをしていかなければならない。ただ、これは日之影町などの町村に限ったことではないため、共通のテーマとしてとらえていかなければならない。

(会長)

- ・ 国、県、市町村の施策などは以前より進んでいる反面、不足している部分などは引き続き議論をしていく必要があると認識している。

(県社会福祉協議会)

- ・ 長いスパンの中でふるさとを愛する気持ちを育てるべきだと感じる。実施している施策の中にちりばめられていると思うが、文化の大切さを伝える教育の重要性、郷土愛など目に見えないものを是非様々な主体と連携して伝えてほしい。

(子育てネットワークみやざき)

- ・ VUCA の時代と言われており、このような中だからこそ身近な親子間のコミュニケーションが希薄にならないよう、しっかりとした支援が特に重要になってきていると認識している。

(会長)

- ・ 核家族化が進む中、地域・社会のあり方も変わってきているため、コミュニケーションなどが取れるような仕組みづくりが大事になっていると認識している。

(県地域婦人連絡協議会)

- ・ 自身の経験から一つの命を多くの人たちで支えることの重要性を学んだ。日頃からの近所付き合い、地域との付き合い、行政や病院などとのつながりなど、社会全体での支え合いの仕組みをしっかりと残していかないと人口は増えていかないと感じている。

(宮崎県商工会議所連合会)

- ・ 資料の中にみやざき結婚サポート強化事業があり、成婚数 162 組とあるが、このような成果が出ていることや、結婚支援や子育て支援など行政がこんなことをやっている、動いているなど是非引き続き PR してほしい。
- ・ 行政だけではなく、事業者なども巻き込みながら官民が協力した取組が大切だと考えている。

(会長)

- ・ 県の取組についても、引き続き活用いただくために、しっかりと PR などに取り組んでいく。